



福岡医発第3045号(地)  
平成29年 2月 3日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会  
会長 松 田 峻一良  
(公 印 省 略)

平成29年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について

今般、平成29年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について、別添のとおり国立精神・神経医療研究センターより福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室を通じて案内がありました。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、各研修課程の詳細につきましては下記の同センターホームページに掲載されますのでご確認くださいませようお願いいたします。また、福岡県域に所在する精神科病院に対しては、福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室より通知されておりますことを申し添えます。

記

国立精神・神経医療研究センターホームページ  
(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>)

---

小郡三井医師会より

精神保健担当理事 古川哲也  
会長 白石恒明

公印省略

28健第5228号

平成29年1月30日

公益社団法人 福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課

こころの健康づくり推進室長

(精神保健班)

平成29年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について（送付）

精神保健行政の推進につきましては、日ごろから御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、国立精神・神経医療研究センターより別添のとおり、平成29年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について案内がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員の皆様への周知をよろしくお願いいたします。

詳しい情報については、国立精神・神経医療研究センターのホームページを御確認いただきますようお願いいたします。（平成29年2月掲載予定）

なお、福岡県域に所在する精神科病院に対しては、当室から要項を送付しておりますので、念のため申し添えます。

〒812-8577

福岡市博多区東公園7番7号

福岡県保健医療介護部健康増進課

こころの健康づくり推進室

精神保健班 ト部（うらべ）

TEL) 092-643-3265

FAX) 092-643-3271

# 平成 29 年度 精神保健に関する技術研修課程

## 【募集要項】

国立研究開発法人  
国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1  
電話 042 (341) 2711 (代表)

精神保健研究所ホームページ 研修情報案内  
(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>)

平成29年度精神保健に関する技術研修課程 実施計画表

| 研 修 日 程                                          | 課 程 名                                                   | 申込み方法 |       | 申込み期間<br>(センター書類必着日)               | 受講料           | 定 員      | 主 任                              |  | 自殺総合対策推進センターの担当する研修 |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------|-------|------------------------------------|---------------|----------|----------------------------------|--|---------------------|
|                                                  |                                                         | WEB   | 自治体推薦 |                                    |               |          | 副 主 任                            |  |                     |
| 6月15日(木)～16日(金)                                  | (第12回)<br>発達障害地域包括支援研修:<br>早期支援                         |       | ○     | 3月24日(金)～4月14日(金)<br>(4月25日(火))    | 無料            | 67組      | 神尾 陽子<br>高橋 秀俊<br>石飛 信           |  |                     |
| 7月5日(水)～6日(木)                                    | (第23回)<br>発達障害支援医学研修                                    |       | ○     | 4月6日(木)～4月27日(木)<br>(5月12日(金))     | 無料            | 60       | 稲垣 真澄<br>加賀 佳美<br>北 洋輔           |  |                     |
| 8月29日(火)～9月1日(金)                                 | (第15回)<br>摂食障害治療研修                                      | ○※    |       | 6月19日(月)～7月10日(月)                  | ¥24,000       | 50       | 安藤 哲也<br>菊地 裕絵                   |  |                     |
| 《地域精神科モデル医療研修シリーズ》<br>8月29日(火)                   | (第1回)<br>地域精神科モデル医療研修プレセミナー                             | ○     |       | 6月19日(月)～7月10日(月)                  | ¥6,000        | 40       | 藤井 千代<br>佐藤さやか<br>山口 創生          |  |                     |
|                                                  | (第15回)<br>多職種による包括型アウトリーチ研修                             | ○     |       | 6月19日(月)～7月10日(月)                  | ¥18,000       | 40       |                                  |  |                     |
|                                                  | (第5回)<br>医療における個別就労支援研修                                 |       |       |                                    |               | 20       |                                  |  |                     |
| 8月30日(水)～9月1日(金)                                 |                                                         |       |       |                                    |               |          |                                  |  |                     |
| 9月5日(火)～8日(金)                                    | (第31回)<br>薬物依存臨床医師研修                                    | ○     |       | 6月26日(月)～7月18日(火)                  | ¥24,000       | 20       | 松本 俊彦<br>船田 正彦<br>嶋根 卓也<br>近藤あゆみ |  |                     |
|                                                  | (第19回)<br>薬物依存臨床看護等研修                                   |       |       |                                    |               | 30       |                                  |  |                     |
| 9月19日(火)～20日(水)                                  | (第2回)<br>自殺対策・相談支援研修                                    | ○     |       | 7月10日(月)～8月3日(木)                   | 無料            | 100      | 反町 吉秀                            |  | ○                   |
| 9月27日(水)～28日(木)                                  | (第10回)<br>発達障害地域包括支援研修:<br>精神保健・精神医療                    |       | ○     | 6月30日(金)～7月21日(金)<br>(8月4日(金))     | 無料            | 67組      | 神尾 陽子<br>高橋 秀俊<br>石飛 信           |  |                     |
| 9月27日(水)～29日(金)                                  | (第54回)<br>精神保健指導課程研修(二部制)                               | ○     |       | 7月18日(火)～8月8日(火)                   | 全日<br>¥18,000 | 各部<br>40 | 山之内芳雄<br>鈴木友理子                   |  |                     |
| 第一部<br>9月27日(水)～28日(木)<br>第二部<br>9月28日(木)～29日(金) | 第一部<br>メンタルケアの初期対応のリーダーになる<br>第二部<br>データを活用し身近な施策を組み立てる |       |       |                                    | 各部<br>¥12,000 |          |                                  |  |                     |
| 10月24日(火)～25日(水)                                 | (第12回)<br>司法精神医学研修                                      | ○※    |       | 8月14日(月)～9月4日(月)                   | ¥12,000       | 50       | 安藤久美子<br>菊池安希子<br>河野 稔明          |  |                     |
| 11月8日(水)～10日(金)                                  | (第14回)<br>摂食障害看護研修                                      | ○※    |       | 8月28日(月)～9月19日(火)                  | ¥18,000       | 50       | 安藤 哲也<br>菊地 裕絵                   |  |                     |
| 11月13日(月)～15日(水)                                 | (第9回)<br>認知行動療法の手法を活用した<br>薬物依存症に対する<br>集団療法研修          | ○     |       | 9月4日(月)～9月25日(月)                   | ¥18,000       | 100      | 松本 俊彦<br>船田 正彦<br>嶋根 卓也<br>近藤あゆみ |  |                     |
| 平成30年<br>1月24日(水)～25日(木)                         | (第24回)<br>発達障害支援医学研修                                    |       | ○     | 10月26日(木)～11月16日(木)<br>(11月30日(木)) | 無料            | 60       | 稲垣 真澄<br>加賀 佳美<br>北 洋輔           |  |                     |

◆最新情報は、ホームページにてご確認ください。

※推薦状  
が必要な  
研修

## 平成29年度精神保健に関する技術研修課程

### 募 集 要 項

#### 1. 開講目的

本研修は、精神保健福祉の業務に従事する医療従事者、及び研究者等を対象に、精神疾患、神経・筋疾患、発達障害に関する研究と医療にかかる専門的な知識の習得、並びに技術の向上を図ることを目的とする。

#### 2. 主催

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

#### 3. 募集する研修一覧

「平成29年度精神保健に関する技術研修課程実施計画表」参照。各課程の詳細については、精神保健研究所ホームページ「研修情報」から確認してください。

#### 4. 受講申込

「実施計画表」にて申し込みたい研修の申込み方法を確認後、下記の（１）、（２）のうち該当する手順に従って指定の期日までに受講申込みを行ってください。

##### （１）自治体推薦の必要な研修

###### 【郵送提出書類】

・受講願書      ・履歴書

###### 【書類作成方法】

- ① 本要項またはホームページにあります「受講願書」「履歴書」にご記入もしくはご入力の上、印刷し、ご捺印ください。
- ② 「履歴書」下部の所属先推薦書に、所属先推薦人によるご記入、ご捺印を受けてください。申込者本人が所属長の場合は、「自身が所属長」とご記入ください。
- ③ 所属機関を管轄している自治体（都道府県・政令指定都市願書提出先一覧を参照）へお申込み期間内にご郵送ください。期日までに書類が到着しない場合は、選考の対象となりませんので、ご注意ください。

#### ※ 自治体ご担当者様※

- ④ おとりまとめの上、当センター書類必着日（申込期日とは異なります）までにご郵送ください。

## (2) WEB受付の研修

### 【WEB登録方法】

- ① 受講申込みは、WEBシステムにて行います。精神保健研究所ホームページ「研修情報」メニュー（<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>）から、申し込みたい研修を選択し、「申込」をクリックしてください。
- ② 申込者情報を入力し、内容確認後、登録をしてください。
- ③ 登録したメールアドレスに、受付完了メールが届いたことを確認してください。  
「受講願書」「履歴書」が印刷できますが、郵送の必要はありません。  
自治体を経由せず、WEBのみで受付を行います。

### ■一部研修のみ■

- ④ WEB登録完了後、職場の上司による職印（ない場合は個人印でも可）を押した推薦書をご郵送下さい。推薦書をご郵送いただけない場合、ご参加の登録は無効になります。  
なお、申込者本人が所属長の場合には、推薦書は不要です。

### 【注意事項】

- ・WEB登録後にこちらからのメールが届かない場合は、お問い合わせください。
- ・登録完了後の修正はできません。修正が必要な箇所はメールにてご連絡ください。
- ・WEBに登録された「氏名」、「生年月日」が修了証書への記載事項となります。登録に誤りがある場合は、事前にお申し出ください。

## 5. 受講可否について

書類選考の上、研修開始のおよそ1ヶ月前までに、受講の可否をメールで通知します。なお、電話による受講の可否のお問合わせについてはお答えできません。

受講決定された方には受講決定通知メールにて受講票発行のURLをご案内しますので、受講生ご自身で受講票を印刷の上、研修当日にお持ちください。

## 6. 研修費用の支払（無料の研修を除く）

### (1) 受講料

各研修により、受講料が異なります。受講決定通知メールとあわせて請求書発行のURLをご案内しますので、受講生ご自身で請求書をダウンロードし、請求書に記載の納付期限（研修開始1週間前）までに指定口座にお振り込みください。現金払いはできません。振込手数料はご負担をお願いします。なお、領収書の発行は振込明細に替えさせていただきます。

※公費払い等で、公印押印や請求書の宛名変更が必要な方は、WEB登録時に画面の備考欄（通信欄）へのご入力によりお知らせください。

※振込名義は、「受講者氏名」を入力してください。別の名義で振り込んだ場合は、入金の確認ができませんので、「振込名義」と「振込日」をメールでご連絡ください。

※期日までにご入金が確認できない場合は、受講許可が取り消しになります。

※研修開始日の1週間前を過ぎてからの個人的理由によるキャンセルの場合は、受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。

## (2) その他

研修期間中に実施する所外実習又は見学に要する交通費等は受講者負担とします。

## 7. 修了証書の授与

所定の研修課程を履修した者には修了証書を授与します。成業の見込がないとき、理由なく欠席し、又は出席が通常でないときには、研修途中でも受講の許可を取り消すことがあります。

## 8. 受講時の注意事項

- ・ 宿泊は、各人で手配してください。
- ・ 研修会場へは公共交通機関をご利用ください。
- ・ 昼食については、各研修の案内をご確認ください。
- ・ 受付開始時刻までは、会場内に入れません。
- ・ やむをえず遅刻および早退、欠席する場合には、あらかじめご連絡ください。
- ・ 当センターは敷地内全面禁煙となっております。また、歩行者や近隣住民のご迷惑となりますので、当センター周辺道路歩道上での喫煙もご遠慮ください。

## 9. 研修修了後

研修によっては、事後報告を求めることがあります。（アンケートなど）

## 10. 研修に関するお問い合わせ先

〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 研究所事務室

TEL 042-341-2712（内線6309）（受付時間：平日9時～17時）

Fax 042-346-1944

E-Mail: seiken-kensyu@ncnp.go.jp

なお、自殺総合対策推進センターが担当する研修（実施計画表 参照）については、直接自殺総合対策推進センターまでお問い合わせください。

### <自殺総合対策推進センター研修窓口>

TEL 042-341-2712（内線6300）（受付時間：平日9時～17時）

Fax 042-346-1884

E-Mail: sp-kensyu@ncnp.go.jp

平成 29 年度  
精神保健に関する技術研修課程

【自治体推薦による申込受付の研修】

国立研究開発法人  
国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1  
電話 042 (341) 2711 (代表)

精神保健研究所ホームページ 研修情報案内  
(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>)

## < 目 次 >

### 自治体推薦による申込受付の各研修課程要項

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 第 12 回発達障害地域包括支援研修：早期支援      | 1 |
| 第 10 回発達障害地域包括支援研修：精神保健・精神医療 | 3 |
| 第 23 回発達障害支援医学研修             | 5 |
| 第 24 回発達障害支援医学研修             | 6 |

# 第 12 回 発達障害地域包括支援研修：早期支援

## (旧研修名：発達障害早期総合支援研修)

### 1. 目 的

発達障害のある子どもや家族への支援を可能な限り早期から開始することの重要性は、今日、実証的に示されています。発達障害の早期発見・早期支援の重要性を考えると、各地域での機能特化と相互補完の理念に基づく多職種連携支援の重要性が益々重要になっています。特定の専門機関だけでなく、健康に携わる全ての職種がこうした発達障害の支援に一定の役割が期待されるようになってきました。こうした背景から、日頃より受診する診療所の主治医（かかりつけ医）等の医療従事者等に対して、厚生労働省は各地域における早期発見・早期支援のための体制整備及び適切な事業実施を推進するために、「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の実施要綱を定め、平成 28 年度から各都道府県・指定都市において関係団体等と連携の下での研修の事業実施についての通知を発出しました。

本研修は、各自治体が実施する「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」において扱う必要のある重要なテーマのうちの一つ、早期発見と早期支援について、「研究等で客観的に確認されている情報」、「好実践事例と考えられるモデル」、「当事者の声」といった異なる視点からの情報を提供します。各自治体は、これらの内容を含めて、担当地域の体制整備を点検し、改善につながる地域独自の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」を企画、実施することが期待されます。

受講者は、研修後に派遣元の自治体での研修会を企画し、または講師として研修内容の向上および地域への普及に努め、支援体制整備を推進することを要件としています。

### 2. 対 象 者

各自治体（都道府県、指定都市）から、該当地域の発達障害者支援に携わる関係者のうち、①～③のいずれかに該当するものをご推薦ください。

- ① 行政的な立場で研修の実施に携わる者
- ② 医療、保健、福祉、教育等の分野で支援に携わっており、研修講師となりうる者
- ③ その他、本研修の意義を踏まえ参加が適切と都道府県・指定都市（以下「都道府県等」という。）が判断した者

#### ●受講の可否について

対象者の①②の 2 つの立場からの受講者がそろっている都道府県等から優先的に受け付けます。

#### ●申請時に提出する課題

受講者の地元自治体の早期発見・支援体制の現状、および受講者が受講後に自治体に戻って果たす役割について、申請時に提出してください。(様式はホームページに掲載)

### 3. 研修期間

平成 29 年 6 月 15 日（木）から平成 29 年 6 月 16 日（金）

### 4. 研修主題

地域における早期の自閉症発見とその後の発達支援のシステムのあり方について講義やワークショップを通して、派遣元の地域で実際にスムーズに運用するための課題とその克服のための方法を見つけていただき、研修後の体制整備に活用していただくことです。

## 5. 課程内容

|                                    |         |
|------------------------------------|---------|
| 1 日目 11 時開始～                       | (時間)    |
| 発達障害者支援事業について                      | (1.0)   |
| 発達障害のある児の早期発見と早期支援の意義              | (1.5)   |
| 地域特性に応じた発達障害支援のあり方                 | (1.5)   |
| 2 日目 9 時～                          |         |
| 乳幼児の対人コミュニケーション行動のアセスメント：自閉症スペクトラム | (1.5)   |
| 自治体取組紹介                            | (1.5)   |
| 全体での意見交換                           | (0.5)   |
| 発達支援：地域支援、家族支援、子どもへの支援             | (1.5)   |
| ワークショップ：地域発達支援の行動計画立案              | (1.5)   |
| 合計                                 | 10.5 時間 |

## 6. 定 員

各自治体 1 ペアで 計 67 ペアまで

## 7. 申込方法・期間

自治体推薦

平成 29 年 3 月 24 日（金）～ 4 月 14 日（金）

## 8. 受 講 料

無 料

## 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

# 第10回 発達障害地域包括支援研修：精神保健・精神医療

## (旧研修名:発達障害精神医療研修)

### 1. 目 的

一般精神医療現場や精神保健領域で出会う種々の主訴を有する精神科患者のなかで、また学校や職場で行動の問題を呈する人々のなかには、自閉スペクトラム症や注意欠如・多動性障害などの発達障害あるいは特性を強く有する患者が多く潜在し、臨床ニーズが高いことも徐々にわかってきました。発達障害の診断と対応が遅れるために、問題が複雑化しているケースも多数存在し、臨床上の課題となっています。発達障害のある人々の見逃されている臨床ニーズを考えると、各地域での機能特化と相互補完の理念に基づく多職種連携支援の重要性が益々重要になっています。特定の専門機関だけでなく、健康に携わる全ての職種がこうした発達障害の支援に一定の役割が期待されるようになってきました。こうした背景から、日頃より受診する診療所の主治医（かかりつけ医）、校医等の医療従事者等に対して、厚生労働省は各地域における発達障害支援のための体制整備及び適切な事業実施を推進するために、「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の実施要綱を定め、平成28年度から各都道府県・指定都市において関係団体等と連携の下での研修の事業実施についての通知を発出しました。

本研修は、各自治体が実施する「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」において扱う必要のある重要なテーマのうちの一つ、発達障害者の精神保健的な問題について、発達障害や発達特性の診断評価やその理解、併存症に関する知識、そして発達段階による臨床上的変化や診断・治療上の留意点について、「研究等で客観的に確認されている情報」、「好実践事例と考えられるモデル」、「当事者の声」といった異なる視点からの情報を提供します。各自治体は、これらの内容を含めて、担当地域の体制整備を点検し、改善につながる地域独自の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」を企画、実施することが期待されます。

受講者は、研修後に派遣元の自治体での研修会を企画し、または講師として研修内容の向上および地域への普及に努め、支援体制整備を推進することを要件としています。

### 2. 対 象 者

各自治体（都道府県、指定都市）から次の方をご推薦ください。

- ① 行政的な立場で研修の企画や実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員
- ② 地域の（児童）精神医療の中核となる機関（精神科病院、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）に勤務し、研修講師となりうる精神科医
- ③ その他、本研修の意義を踏まえ参加が適切と都道府県・指定都市（以下「都道府県等」という。）が判断した者

#### ●受講の可否について

対象者の①②の2つの立場からの受講者がそろっている都道府県等から優先的に受け付けますが、いずれかのみ参加も受け付けます。

#### ●申請時に提出する課題

受講者の地元自治体の発達障害支援体制の現状、および受講者が受講後に自治体に戻って果たす役割について、申請時に提出してください。(様式はホームページに掲載)

### 3. 研修期間

平成 29 年 9 月 27 日（水）から平成 29 年 9 月 28 日（木）まで

### 4. 研修主題

本研修は、発達障害児・者が合併する精神疾患の早期対応と適切な治療のためのシステムのあり方について講義やワークショップを通して、派遣元の地域で実際にスムーズに運用するための課題とその克服のための方法を見つけていただき、研修後の体制整備に活用していただくことです。

### 5. 課程内容

|                        |       |       |
|------------------------|-------|-------|
| 1 日目                   | 11 時～ | (時間)  |
| 発達障害者支援事業について          |       | (1.0) |
| 発達障害の発達の道筋：子どもからおとなへ   |       | (1.5) |
| 自治体取組事例①               |       | (1.5) |
| ワークショップ                |       | (1.5) |
| 2 日目                   | 9 時～  |       |
| 発達障害の併存症の評価と治療         |       | (1.5) |
| 自治体取組事例②               |       | (1.5) |
| 精神科外来における ADHD 診断面接の実際 |       | (1.5) |
| 当事者の体験から               |       | (1.0) |
| 合計                     |       | 11 時間 |

### 6. 定 員

各自治体 1 ペアで 計 67 ペアまで

### 7. 申込方法・期間

自治体推薦

平成 29 年 6 月 30 日（金）～ 7 月 21 日（金）

### 8. 受講料

無 料

### 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

## 第 23 回 発達障害支援医学研修

### 1. 目 的

都道府県における発達障害支援の拠点的医療機関の医師等を対象として、研修修了後に指導的な立場から、各地域におけるかかりつけ医などに対して発達障害支援に関する情報や技能を伝達する講師となることを目的とする。そして、「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」事業との関連性を事後報告することが必要となる。

### 2. 対 象 者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。なお、自治体（都道府県、指定都市）において、行政的な立場で地域の研修実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員の参加も可能とする。

医師単独の研修参加は可能であるが、行政的立場の者の単独参加は認めない。

### 3. 研修期間

平成 29 年 7 月 5 日（水）から平成 29 年 7 月 6 日（木）まで

### 4. 研修主題

発達障害の診断・治療と支援の実際

### 5. 課程内容（予定）

（時間）

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| I. （1）厚生労働省の発達障害支援施策について  | （1.0） |
| （2）発達障害児に対する支援の考え方        | （2.0） |
| （3）発達障害児を持つ保護者への支援        | （1.5） |
| （4）ADHD児のみかた：問題行動解決のための手法 | （1.5） |
| （5）地域における発達障害児・者支援の現状     | （1.5） |
| II. （6）顕在化しにくい発達障害：学習障害   | （1.5） |
| （7）顕在化しにくい発達障害：吃音症        | （1.5） |
| （8）発達障害児の感覚・運動機能評価と支援     | （1.5） |

合計 12 時間

### 6. 定 員

60 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

自治体推薦

平成 29 年 4 月 6 日（木）～ 4 月 27 日（木）

### 8. 受 講 料

無 料

### 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

## 第 24 回 発達障害支援医学研修

### 1. 目 的

都道府県における発達障害支援の拠点医療機関の医師等を対象として、研修修了後に指導的な立場から、各地域におけるかかりつけ医などに対して発達障害支援に関する情報や技能を伝達する講師となることを目的とする。そして、「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」事業との関連性を事後報告することが必要となる。

### 2. 対 象 者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。なお、自治体（都道府県、指定都市）において、行政的な立場で地域の研修実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員の参加も可能とする。

医師単独の研修参加は可能であるが、行政的立場の者の単独参加は認めない。

### 3. 研修期間

平成 30 年 1 月 24 日（水）から平成 30 年 1 月 25 日（木）まで

### 4. 研修主題

発達障害児に対する医学的介入と心理社会的支援の実践

### 5. 課程内容（予定）

（時間）

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| I. (1) 厚生労働省の発達障害者支援施策について   | (1.0) |
| (2) 発達障害者の就労支援               | (1.5) |
| (3) 発達障害支援サービス：社会移行スキル       | (1.5) |
| II. (4) 医師が知っておきたい心理検査：講義と実習 | (4.0) |
| (5) 要医療ケア児・脳性麻痺児の行動異常・社会性異常  | (1.5) |
| (6) 発達障害の薬物治療                | (1.5) |
| (7) 顕在化しにくい発達障害：不器用児のみかた     | (1.5) |
| (8) 顕在化しにくい発達障害：チック症のみかた     | (1.5) |

合計 14 時間

### 6. 定 員

60 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

自治体推薦

平成 29 年 10 月 26 日（木）～ 11 月 16 日（木）

### 8. 受 講 料

無 料

### 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

# 書類様式

## 【自治体推薦による申込】

【自治体推薦申込み用】

## 受 講 願 書

平成 年 月 日

国立研究開発法人  
国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所長 様

勤 務 先 \_\_\_\_\_

勤務先所在地 \_\_\_\_\_

現 住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

⑩ \_\_\_\_\_

貴所の平成 29 年度第 \_\_\_\_\_ 回 \_\_\_\_\_ 研修  
を受講したいので、関係書類を添えて申請します。  
また、受講対象者としては、下記に該当します。

- (     ) 行政的な立場で研修の実施に携わる者
- (     ) 医療、保健、福祉、教育等の分野で支援に携わる者
- (     ) その他

※いずれか 1 つに○をお付け下さい。

## 履 歷 書

|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       |                    |  |
|---------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------|--------------------|--|
| フリガナ                |      |                                                                                                                 |      | 性別  |       | ※この欄には記入しないこと      |  |
| 氏名                  |      |                                                                                                                 |      | 男・女 |       |                    |  |
| 生年月日                |      | 昭和・平成<br>年 月 日生( 歳)                                                                                             |      |     |       | 年 月 日              |  |
| 自宅住所                |      |                                                                                                                 |      |     |       |                    |  |
| 勤務先                 | 名称   |                                                                                                                 |      |     |       |                    |  |
|                     | 所属部署 |                                                                                                                 |      |     |       |                    |  |
|                     | 所在地  |                                                                                                                 |      |     |       | 〒                  |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       | 電話                 |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       | E-Mail             |  |
| 現在の職種<br>(一つ選択)     |      | ・医師(精神科)      ・臨床心理技術者      ・薬剤師<br>・医師(精神科以外)      ・精神保健福祉士<br>・保健師      ・作業療法士<br>・看護師      ・社会福祉士<br>・その他( ) |      |     |       |                    |  |
| 最終学歴                |      | 学校・学部・学科名                                                                                                       |      |     |       | 卒業                 |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       | 年 月                |  |
| 看護関係学歴<br>(看護師のみ記入) |      | 学校・学科                                                                                                           |      |     |       | 卒業                 |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       | 年 月                |  |
| 取得免許<br>(医療関係に限る)   |      | 免許の名称                                                                                                           | 登録番号 |     | 取得年月日 |                    |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     | 年 月 日 |                    |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     | 年 月 日 |                    |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     | 年 月 日 |                    |  |
| 精神保健関係の<br>研修受講歴    |      | 研修名                                                                                                             |      |     |       | 受講期間               |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       | 年 月から<br>年 月まで 年 月 |  |
|                     |      |                                                                                                                 |      |     |       | : :<br>: :         |  |

| 職 歴                               | 勤務先・所属部課・診療科名 | 職 名 | 勤 務 期 間        |      |  |  |
|-----------------------------------|---------------|-----|----------------|------|--|--|
|                                   |               |     | 年 月から<br>年 月まで | 年 カ月 |  |  |
|                                   |               |     | ：<br>：         | ・    |  |  |
|                                   |               |     | ：<br>：         | ・    |  |  |
|                                   |               |     | ：<br>：         | ・    |  |  |
|                                   |               |     | ：<br>：         | ・    |  |  |
|                                   |               |     | ：<br>：         | ・    |  |  |
| 精神科関係の勤務歴（通算）                     |               |     | 年 カ月           |      |  |  |
| 現在の職務内容<br>（簡明に記載）                |               |     |                |      |  |  |
| 研修志望理由                            |               |     |                |      |  |  |
| 研修内容に<br>対する要望等                   |               |     |                |      |  |  |
| 研修企画・講師歴<br>（直近3年間について<br>記載）     | 研修名           |     | 役割（どちらかに○）     |      |  |  |
|                                   |               |     | 研修講師・企画運営等     |      |  |  |
|                                   |               |     | 研修講師・企画運営等     |      |  |  |
|                                   |               |     | 研修講師・企画運営等     |      |  |  |
| 「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の企画や講師の予定について |               |     |                |      |  |  |
| 備 考 欄                             |               |     |                |      |  |  |

所 属 先 推 薦 書

(受講推薦理由)

上記の者を貴所の第 回

研修受講生として推薦いたします。

施 設 名

所 在 地

推薦者氏名

印

平成 年 月 日

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所長 様

平成 29 年度  
精神保健に関する技術研修課程  
**【WEB による申込受付の研修】**

国立研究開発法人  
国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1  
電話 042 (341) 2711 (代表)

精神保健研究所ホームページ 研修情報案内  
(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>)

## < 目 次 >

### WEBによる申込受付の各研修課程要項

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 第 15 回摂食障害治療研修                     | 1  |
| 第 1 回地域精神科モデル医療研修プレセミナー            | 2  |
| 第 15 回多職種における包括型アウトリーチ研修           | 3  |
| 第 5 回医療における個別就労支援研修                | 4  |
| 第 31 回薬物依存臨床医師研修・第 19 回薬物依存臨床看護等研修 | 5  |
| 第 2 回自殺対策・相談支援研修                   | 6  |
| 第 54 回精神保健指導課程研修（二部制）              | 7  |
| 第 12 回司法精神医学研修                     | 9  |
| 第 14 回摂食障害看護研修                     | 10 |
| 第9回認知行動療法の手法を活用した薬物依存症に対する集団療法研修   | 11 |

# 第 15 回 摂食障害治療研修

## 1. 目 的

摂食障害の治療に必要な専門的な知識及び技術の修得を目的とする。このことにより摂食障害の治療者の養成を目指す。

## 2. 対 象 者

病院、保健所、精神保健福祉センター等に勤務し、摂食障害に関心を有する医療従事者

- ・精神科、心療内科、一般内科、小児科で臨床に従事している医師
- ・臨床心理業務等に従事する者

## 3. 研修期間

平成 29 年 8 月 29 日（火）から平成 29 年 9 月 1 日（金）まで

## 4. 研修主題

摂食障害の病態と治療に関する最新の知見

## 5. 課程内容

(時間)

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| 摂食障害の疫学・病態・治療概論         | (1.5) |
| 心理教育                    | (1.5) |
| セルフヘルプ                  | (1.5) |
| 家族への対応                  | (1.5) |
| 認知行動療法                  | (3.0) |
| 身体合併症・身体的管理             | (3.0) |
| 精神障害・パーソナリティ障害を合併する摂食障害 | (1.5) |
| アルコール依存と摂食障害            | (1.5) |
| 小児の摂食障害                 | (1.5) |
| 入院治療                    | (1.5) |
| 慢性期・回復期・リハビリテーション       | (3.0) |
| 症例検討                    | (1.5) |
| 総合討論                    | (1.5) |

合計 24 時間

## 6. 定 員 50 名（応募者多数の場合は選考）

## 7. 申込方法・期間

WEB（推薦書の送付が必要です）

平成 29 年 6 月 19 日（月）～ 7 月 10 日（月）

## 8. 受 講 料 24,000 円

## 9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナールーム

## 第1回 地域精神科モデル医療研修プレセミナー

### 1. 目 的

中等度～重症精神障害者の地域生活を支えるためのサービスを提供するにあたっては、リスクアセスメントに基づく支援計画を立て、必要に応じて適切な危機介入を行うことが望まれる。その際には本人のリスクのみを評価するのではなく、同時にストレングスに着目すると同時に、本人の自律性や価値観を尊重することが重要である。本研修では、包括型アウトリーチや個別就労支援を行うにあたって知っておきたいリスクアセスメントと精神科保健医療福祉の倫理的側面について学び、日常臨床に生かせるようになることを目的とする。

### 2. 対 象 者

精神科医療機関、精神保健福祉センター、保健所、市町村、社会復帰施設等に勤務する従事者（医師、精神保健福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師、作業療法士、社会福祉士等）、障害者総合支援法における社会福祉サービスの事業者等。第15回多職種による包括型アウトリーチ研修、第5回医療における個別就労支援研修の受講者を優先するが、本研修のみの受講も可。

### 3. 研修期間

平成29年8月29日（火）

### 4. 研修主題

精神科地域支援におけるリスクアセスメントと倫理。

リスクアセスメントの基本的な考え方と、地域支援においてジレンマに陥りやすい守秘義務や自己決定権をめぐる倫理的な課題について学習する。地域支援を実施するにあたって簡便に使用でき、支援計画作成時にも役立つリスクアセスメントツールの実際の評価方法を演習を通して学び、臨床現場で活用できるようにする。

### 5. 課程内容

|                  | (時間)   |
|------------------|--------|
| 精神科地域支援における倫理的課題 | (2.0)  |
| リスクアセスメントの歴史     | (1.0)  |
| リスクアセスメントの項目について | (1.0)  |
| リスクアセスメント演習      | (2.5)  |
| 合計               | 6.5 時間 |

### 6. 定 員

40 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

WEB 平成29年6月19日（月）～ 7月10日（月）

### 8. 受 講 料

6,000 円

### 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟多目的室

## 第 15 回多職種による包括型アウトリーチ研修

### 1. 目 的

中等度～重症精神障害者の退院促進・再発予防・地域生活支援を目指した医療支援、障害福祉サービスを含む、多職種による包括型のアウトリーチ支援を我が国に普及・定着させるため、地域における実践に必要な技術や課題の修得を目的とする。

### 2. 対 象 者

精神科医療機関、精神保健福祉センター、保健所、市町村、社会復帰施設等に勤務する従事者（医師、精神保健福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師、作業療法士、社会福祉士等）、障害者総合支援法における社会福祉サービスの事業者。訪問支援経験者、もしくはこれから訪問支援を開始する予定の者が望ましい。

### 3. 研修期間

平成 29 年 8 月 30 日（水）から平成 29 年 9 月 1 日（金）まで

### 4. 研修主題

医療支援および障害福祉サービスを含むアウトリーチ支援定着のためのプログラム

### 5. 課程内容

| 《共通課程》                               |  | (時間)       |
|--------------------------------------|--|------------|
| アウトリーチ概論制度概要                         |  | (1.5)      |
| 精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(1)      |  | (1.0)      |
| 精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(2)      |  | (1.0)      |
| ～支援者・当事者・家族の声から～                     |  | (2.0)      |
| ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法             |  | (2.5)      |
| グループワーク：ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法     |  | (2.5)      |
| 《本課程専門》                              |  |            |
| アウトリーチにおける生活支援（生活支援の実施・当事者からの声）      |  | (2.0)      |
| アウトリーチにおける就労支援（IPS モデル）・家族支援         |  | (2.0)      |
| グループワーク：日本のアウトリーチ支援の現状、今後の課題         |  | (2.0)      |
| 全国における地域ケアマネジメント・訪問による生活訓練等の実践・運営の状況 |  | (2.0)      |
| アウトリーチ支援における医学的要素（医師の役割・薬物管理・危機介入等）  |  | (2.0)      |
|                                      |  | 合計 20.5 時間 |

6. 定 員 40 名（応募者多数の場合は選考）

7. 申込方法・期間 WEB 平成 29 年 6 月 19 日（月）～ 7 月 10 日（月）

8. 受 講 料 18,000 円

9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

## 第5回 医療における個別就労支援研修

### 1. 目 的

入院中心の医療を地域生活中心の医療に転換するためには、「症状緩和のための医療」を「その人の生活の充実に役に立つ医療」に転換していく必要がある。このためには、「働きたい」精神障害者が実際に就職できるような支援を、医療機関が積極的に関与しながら展開することが重要である。本研修は科学的根拠のある実践である、個別職場定着とサポート（IPS：individual Placement and Support）の概念を中心とした就労支援のあり方を医療機関に普及することを目的としている。

### 2. 対 象 者

精神科医療機関で臨床に従事しており、利用者の就労支援に関心を持つ者（医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士など）、および医療機関と密接な関係をもちながら精神障害者の**個別就労支援に既に従事している者（集団プログラム等のみの支援は除く）**。

### 3. 研修期間

平成 29 年 8 月 30 日（水）から平成 29 年 9 月 1 日（金）まで

### 4. 研修主題

個別職場定着とサポート（IPS：individual Placement and Support）の就労支援の原則を学び、そこから精神科デイケアを中心とした、個別就労支援のありかたや、医療機関が周囲の就労支援機関と組む場合のありかたについて検討する。

### 5. 課程内容

| 《 共通課程 》                         | （時間）    |
|----------------------------------|---------|
| アウトリーチ概論制度概要                     | （1.5）   |
| 精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(1)  | （1.0）   |
| 精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(2)  | （1.0）   |
| ～支援者・当事者・家族の声から～                 | （2.0）   |
| ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法         | （2.5）   |
| グループワーク：ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法 | （2.5）   |
| 《 本課程専門 》                        |         |
| 労働行政の現在と課題：障害者雇用を中心に             | （1.0）   |
| 個別職場定着とサポート（IPS）の基本的な考え方と実践のありかた | （1.5）   |
| IPSを基本とした、デイケアにおける就労支援のありかた      | （1.5）   |
| クリニックなどと就労支援の結合について              | （1.5）   |
| 精神障害者を雇用するにあたっての企業側の考え方          | （1.0）   |
| 当事者サイドの声、家族の声                    | （1.5）   |
| グループワーク：運営に向けてのファーストステップ         | （2.0）   |
| 合計                               | 20.5 時間 |

### 6. 定 員

20 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

WEB 平成 29 年 6 月 19 日（月）～ 7 月 10 日（月）

### 8. 受 講 料

18,000 円

### 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟多目的室

# 第 31 回 薬物依存臨床医師研修

## 第 19 回 薬物依存臨床看護等研修

### 1. 目 的

国内外の薬物乱用・依存をめぐる情勢を考慮すると、我が国の精神医療、精神保健の中での薬物依存問題はますます重要性を増していると考えられる。そのため、薬物依存に関心を持つ医師、看護師等を対象に、薬物依存の概念・現状理解、基礎知識、臨床的対応法にわたる研修を行い、薬物依存の診断、治療及び予防にかかわる医療関係者を増やすことを目的とする。

### 2. 対 象 者

精神科病院、精神保健福祉センター等に勤務する医師、看護師等

### 3. 研修期間

平成 29 年 9 月 5 日（火）から平成 29 年 9 月 8 日（金）まで

### 4. 研修主題

薬物依存症概念の理解と薬物依存症に対する臨床的対応の普及

### 5. 課程内容

|                         | (時間)  |
|-------------------------|-------|
| 薬物依存に関する基礎知識と現状把握       | (1.5) |
| 薬物依存の形成機序（精神依存・身体依存）    | (1.5) |
| 覚せい剤精神疾患の生物学的機序         | (1.5) |
| 覚せい剤依存・精神病の臨床           | (1.5) |
| ベンゾジアゼピン系薬物の基礎と臨床       | (1.5) |
| 大麻の薬理作用及び行動毒性           | (1.5) |
| 女性薬物依存症者の臨床的特徴          | (1.5) |
| 青少年における薬物乱用の特徴と乱用防止のあり方 | (1.5) |
| 医療施設における薬物依存の治療         | (3.0) |
| 精神保健福祉センターにおける取り組み      | (1.5) |
| 全国の民間リハビリ施設の現状と課題       | (1.5) |
| 回復者による自助グループ活動          | (1.5) |
| 薬物依存者家族の支援について          | (1.5) |

合計 21.0 時間

### 6. 定 員

医師 20 名、看護師等 30 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

WEB 平成 29 年 6 月 26 日（月）～ 7 月 18 日（火）

### 8. 受 講 料

24,000 円

### 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナールーム

## 第2回 自殺対策・相談支援研修

### 1. 目的

生きる支援としての自殺対策の意義を理解した上で、自殺に傾いた人や自死で遺された人の思いに寄り添う相談を、地域における関係機関や民間団体と連携して行えるようになるための基礎を身につける。また、連携体制を構築することの重要性について、基本的な理解をできるようにする。

### 2. 対象者

自治体（都道府県・市区町村の相談窓口業務、精神保健福祉センター、保健所等）、関係機関等で相談業務に関わる方。（職種は問わない）

### 3. 研修期間

平成 29 年 9 月 19 日（火）から平成 29 年 9 月 20 日（水）まで（2 日間）

### 4. 研修主題

生きる支援としての自殺対策の基本を理解した上で、自殺に関わる様々な場面における相談支援の基本を身につける。加えて、相談支援に求められる連携やそのための体制についても理解できるようにする。

### 5. 課程内容

|                             | (時間)    |
|-----------------------------|---------|
| 日本の自殺問題、自殺対策の基本的な枠組み        | (0.5)   |
| 生きる支援としての自殺対策に求められるもの       | (1.25)  |
| 自殺のリスクアセスメントについて            | (1.25)  |
| 自殺未遂者の支援－個別支援と地域との連携構築      | (1.5)   |
| 若年者の心の相談と自殺予防               | (1.0)   |
| 自死遺族支援－基本的理解と多角的な支援         | (1.5)   |
| 生きる支援としての多機関連携とパーソナルサポートの実際 | (1.25)  |
| 依存症と自殺予防                    | (1.0)   |
| 相談・支援のあり方についての問い直し、まとめ      | (1.25)  |
| 合計                          | 10.5 時間 |

### 6. 定員

100 名（応募者多数の場合には選考）

### 7. 申込方法・期間 WEB 平成 29 年 7 月 10 日（月）～8 月 3 日（木）

### 8. 受講料 無料

### 9. 会場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

## 第 54 回 精神保健指導課程研修

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 第一部 | メンタルケアの初期対応のリーダーになる |
| 第二部 | データを活用し身近な施策を組み立てる  |

### 1. 目 的

地域における精神保健行政を担う者の 2 つの観点からのスキルアップを目的とする。

第一部：人材育成や自らの対応力向上の観点から、メンタルに課題を抱えた人への初期対応法を身に付け、普及啓発活動に活用できるようにする。

第二部：平成 30 年度からの医療計画・障害福祉計画等の改訂を控え、事業等の企画評価の観点から、上記計画に関連するデータを活用し施策を組み立て評価するための知識と技術を身につけ、業務で活用できるようにする。

### 2. 対 象 者

- ・行政あるいは、地域の精神保健医療機関において中核的な役割を担い、企画や人材育成に携わる保健医療従事者（保健医療資格の有無は問わない）
- ・精神保健福祉センター・保健所等で、メンタルヘルス直接支援、企画立案・調査研究に携わっている者

### 3. 研修期間

平成 29 年 9 月 27 日（水）から平成 29 年 9 月 29 日（金）まで

（第一部：9 月 27 日、28 日 第二部：9 月 28 日、29 日）

※ 一部または二部のみの参加、もしくは両方通しての参加ともに可

### 4. 研修主題

第一部：基本的な精神疾患に関する知識を理解し、専門家への連携のための初期対応法を習得する、メンタルヘルスファーストエイド(MHFA)を学ぶ。講義、デモセッションの見学、ディスカッション、演習を行う。

第二部：平成 30 年度からの医療計画・障害福祉計画等の改訂を控え、新たな目標管理やデータの見方と活用の方法等を知り、施策・事業の企画・評価をどのように行うべきかについて講義・演習・グループディスカッション等を行う。

※ 一部または二部のみの参加、もしくは両方通しての参加ともに可

### 5. 課程内容

#### 第一部

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| メンタルヘルス・ファーストエイド(MHFA)とは | (1.0) |
| うつ病・自殺の MHFA             | (1.5) |
| 不安障害の MHFA               | (1.5) |
| 地域における MHFA 研修の実際        | (1.0) |
| 精神病性障害の MHFA             | (1.5) |
| 物質使用の MHFA               | (1.5) |
| 総合討議                     | (1.0) |

小計 9 時間

|                  |       |
|------------------|-------|
| 第二部              | (時間)  |
| 精神保健医療施策の動向      | (1.0) |
| データを活用した地域診断     | (4.0) |
| 精神保健福祉データの見方、活用法 | (4.0) |

小計 9 時間  
合計 18 時間

## 6. 定 員

各部 40 名（応募者多数の場合は選考）

## 7. 申込方法・期間

WEB 平成 29 年 7 月 18 日（火）～ 8 月 8 日（火）

## 8. 受 講 料

各部 12,000 円

※ 一部・二部通して参加の方は 18,000 円

## 9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナールーム

## 第 12 回 司法精神医学研修

### 1. 目 的

本研修では、司法精神医学に関する基礎的な情報を提供し、またできるだけ幅広い話題を取りあげた講義を行います。一般精神医療、地域精神保健、あるいは行刑施設等、さまざまな領域における臨床と研究をおこなう前提として必要な知識を学ぶことを目的とします。

### 2. 対 象 者

医療機関、刑事施設、地域（保健所等）において精神医療に従事している医師、臨床心理技術者、看護師、精神保健福祉士等

### 3. 研修期間

平成 29 年 10 月 24 日（火）から平成 29 年 10 月 25 日（水）まで

### 4. 研修主題

司法精神医学的な評価と介入を提供するために必要となる基本的な知識の習得、およびその臨床的な応用

### 5. 課程内容

(時間)

司法精神医学概論—歴史、法律、制度—

(2.0)

刑事責任能力と精神鑑定

(1.0)

医療観察法総論

(1.0)

医療観察法の現状（入院）

(1.0)

医療観察法の現状（通院）

(1.0)

司法精神医療における各種実践支援ツール

(3.0)

司法精神医療における心理学的治療アプローチ

(3.0)

合計 12 時間

### 6. 定 員 50 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

WEB（推薦書の送付が必要です）

平成 29 年 8 月 14 日（月）～ 9 月 4 日（月）

### 8. 受講料 12,000 円

### 9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館 セミナールーム

## 第 14 回 摂食障害看護研修

### 1. 目 的

摂食障害に関する専門的な知識及び技術を習得することにより、摂食障害のチーム医療、医療連携、患者・家族の支援に貢献できる看護師および保健師、作業療法士、精神保健福祉士、栄養士等を養成する。

### 2. 対 象 者

精神科、心療内科、小児科、精神保健福祉センター等に勤務する看護師および保健師、作業療法士、精神保健福祉士、栄養士等

### 3. 研修期間

平成 29 年 11 月 8 日（水）から平成 29 年 11 月 10 日（金）まで

### 4. 研修主題

摂食障害の病態と治療に関する最新の知見

### 5. 課程内容

|                          | (時間)  |
|--------------------------|-------|
| 摂食障害の疫学・病態・治療概論          | (1.5) |
| コミュニケーションのスキル            | (1.5) |
| 摂食障害治療の基本                | (1.5) |
| 摂食障害の身体的合併症の管理           | (1.5) |
| 摂食障害、パーソナリティー障害を合併する摂食障害 | (1.5) |
| 精神科病棟における看護              | (1.5) |
| 心療内科・内科病棟における看護          | (1.0) |
| 小児の摂食障害と小児科病棟における看護      | (2.0) |
| 慢性期・回復期・リハビリテーション        | (2.0) |
| 栄養リハビリテーション              | (2.0) |
| ソーシャルワーカーの役割             | (1.0) |
| 総括討論                     | (1.0) |
| 合計                       | 18 時間 |

### 6. 定 員 50 名（応募者多数の場合は選考）

### 7. 申込方法・期間

WEB（推薦書の送付が必要です）

平成 29 年 8 月 28 日（月）～ 9 月 19 日（火）

### 8. 受 講 料 18,000 円

### 9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナールーム

# 第9回 認知行動療法の手法を活用した 薬物依存症に対する集団療法研修

本研修は、平成28年度より新設された「依存症集団療法」の施設基準に定められている研修会です。  
なお、診療などのやむを得ない理由で最終日ご受講できない場合でも、「依存症に対する集団療法に係る研修」の要件を満たすため修了証書を発行します。WEB申し込みの際に、「特別連絡欄」にて予めその旨お知らせください。

## 1. 目的

薬物依存症者に対する積極的な援助ができるようになるとともに、Matrix Modelを参考にした包括的外来薬物依存症治療プログラムを実施するための基礎を身につけるとともに、薬物再乱用防止プログラムを実施できる援助者を増やし、国内各地にプログラムを普及させることが目的である。なお、本研修は、診療報酬における「依存症集団療法」算定における施設基準資格者養成研修でもある。

## 2. 対象者

医療機関、行政機関、司法機関、民間回復施設等で薬物依存症者の援助に従事している者。

## 3. 研修期間

平成29年11月13日（月）から平成29年11月15日（水）まで

## 4. 研修課題

薬物依存症者の臨床的特徴と治療に関するエビデンスを理解し、直面化を避けた動機付け面接の重要性を理解し、薬物依存症に対する集団認知行動療法のファシリテーションの実際を学ぶとともに、家族支援への理解を深める。なお、当研修と当センター精神保健研究所薬物依存研究部主催による「薬物依存臨床医師・看護等研修」の両方を終了した者に対しては、薬物依存研究部より、「薬物依存専門課程修了認定書」を授与する。

## 5. 課程内容

|                        | (時間)  |
|------------------------|-------|
| 薬物乱用の実態と乱用・依存・中毒概念の理解  | (1.0) |
| 薬物依存症患者への対応の基礎         | (1.0) |
| SMARPPの理念と意義           | (1.5) |
| SMARPPの実際              | (1.5) |
| 薬物依存症からの回復のための社会資源     | (1.0) |
| 薬物依存臨床における司法的問題        | (1.0) |
| ビデオ学習・デモセッション          | (3.0) |
| 再乱用防止プログラムのグループワーク     | (3.0) |
| 薬物依存症と性的マイノリティおよびHIV感染 | (1.0) |
| 動機付け面接の基礎              | (2.0) |
| 依存者家族の支援プログラム CRAFTの基礎 | (1.5) |
| 総合討議                   | (1.0) |

合計 18.5時間

6. 定 員                    100 名（応募者多数の場合は選考）
7. 申込方法・期間        WEB    平成 29 年 9 月 4 日（月）～ 9 月 25 日（月）
8. 受 講 料                18,000 円
9. 会 場                    国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール